

き続けているわけではありません。何羽かの雲雀が、交代で空に昇りさえずっているはずです。」との解説がある。さもありなんと感ずる。そして二つの句が対比されて書かれていることを考えると、「古池や」の蛙は複数とも解釈できるとの指摘である。つまり、「[一匹の蛙が水に飛び込んだ。一瞬静寂が破られたが、また静寂の世界に戻った。]と読むのではなく、ゆったりのんびりすすむ春の時間を表徴するかのように、終日、蛙が飛び込む水の音がのんびりと聞こえる、とも解釈できる」と佐々木・稲越両氏は述べている。こう読むと、「古池や」の句感は「わび・さび」から「癒し系」へ転ずるといふ著者らの言葉は肯

けるのである。360年間、多くの日本人は「古池や 蛙飛び込む 水の音」に親しんできたが、単数・複数論議が意外な読みを誘ったと言えようか。日本語には名詞の単数・複数に曖昧さがあり、例えば「田中君は私の友達です。」とはよく言う表現であるが、ここでの友達は本来複数を表す「達」の複数の意味が薄れてしまっている。「しずかさや 岩にしみいる 蟬の声」や「枯れ枝に からすとまれけり 秋の暮れ」などの句でも蟬や鳥が単数か複数かが気になってくる。俳句の鑑賞としては邪道なのかと、言葉への拘りから悩むのである。

お知らせ

平成18年度

北海道医師会賞の推薦募集開始

北海道医師会では、北海道医師会員であって医学的研究ならびに医事衛生に関し優秀な業績をあげている個人または研究団体の中から選定して、毎年「北海道医師会賞」を贈り、その業績を顕彰しています。

今年度も次の要領により推薦募集を開始いたします。賞金は20万円。贈呈式は、9月30日(土)に開催する第86回北海道医学大会総会で行われます。また、受賞者には、北海道知事賞が贈呈される予定です。

記

1. 対象者

北海道医師会員であって、医学的研究ならびに医事衛生に関する優秀な業績をあげている個人または研究団体。

2. 資格要件

- 1) 個人の場合は、申請時における会員期間が継続して3年以上であること。
- 2) 団体の場合は、構成員の半数以上が、申請時における会員期間が継続して3年以上であること。
- 3) 本賞の受賞歴がないこと。
- 4) 所属都市医師会長または所属医育機関医師会長の推薦を得ていること。

3. 応募の方法

- 1) 応募の方法は、所属する郡市または医育機関医師会を経由して提出することになります。必要な書類等、詳細については、所属医師会へお問合せ下さい。
- 2) 推薦締め切り日

平成18年6月23日(金)

北海道医師会事業第四課

TEL 011-231-1727

FAX 011-210-4514

E-mail: jigyoka@office.hokkaido.med.or.jp